

# スピードはこわくない

## 空と陸のレーサーがトーク

時速数百キロの速さで駆けぬける飛行機、車、バイク。それぞれのレースで活躍する3人の選手が集まり、小学生などを前に話すイベントが8日、東京都内で開かれました。参加した小学生などからの質問に答えました。(松村大行)

この日集まったのは、世界的な飛行機レースで2017年に年間王者となった室屋義秀選手(46歳)、同じ年にアメリカのインディカーレースで優勝した佐藤琢磨選手(42歳)、バイクレースのMotoGPで世界1位とむ中上貴晶選手(27歳)です。

Q(質問) 競技に出合ったきっかけは?

室屋選手 子どもころにアニメの「機動戦士ガンダム」を見て、ガンダムのパイロットを目指しました。飛行機も好きで、自転車に羽をつけて走っていました。大学で航空部に入り、エンジンのない飛行機に乗り始めました。

中上選手 4歳の誕生日にプレゼントされたポケットバイクに乗り始めました。最初は他の子と比



小学生を前に話す(左から)佐藤琢磨選手、中上貴晶選手、室屋義秀選手。これも8日、東京都港区

**むろや・よしひで** 2009年から「レッドブル・エアレース」に参戦。17年にアジア人初の年間王者となった。このレースは今年で終わったが、来年も選手生活が続ける。

**さとう・たくま** 2002年から7年間、F1ドライバーとして活動した後、インディカーレースに参戦。世界3大レースの一つとされるインディ500を17年に日本人で初めて制覇。

**なかがみ・たかあき** 12歳でロードレースにデビューし、14歳で国内王者に。16歳から本格的にMotoGPで戦い始めた。一度日本に帰った後、去年から再びMotoGPに参戦。

## きっかけはガンダム、F1



佐藤選手が乗る車(右)や室屋選手が乗る飛行機の cockpit(左)も展示されました

べて、ぜんぜん乗れなかったらしいです。

佐藤選手 10歳のときに三重県の鈴鹿サーキットでF1グランプリ(世界各地で開かれる自動車レース)があり、見に行きました。止まった状態からすぐに時速200キロをこえる、とてつもない加速感に衝撃を受けました。

### 走行中も止まって見える

Q レース中はこわくない?

佐藤選手 こわいですが、その理由はスピードじゃないです。車をコントロールできているか、かわきが変わります。自分の感覚が手からサスペンションを通じ、タイヤに伝わるようにします。それができれば、時速350キロ出ても、ちっともこわくありません。

中上選手 レース中にチームから(走行データなどを伝える)サインボードが出ますが、写真を見ることができない、止まっているみたいに見えます。

Q 優勝したときはどんな気分?

佐藤選手 17年のインディ500で勝った瞬間、「ぎゅー」とさげびました。あんなにさげびたのは、生まれたとき以来。どうしていいかわからないほどうれしくなりました。

室屋選手 年間王者を決めたとき、つい制限をこえる高さまで飛行機を上げてしまい、管制塔から怒られました(笑)。

Q 好きな数字は?

室屋選手 やっほり「1」番が好き。もし朝5時に起きるなら、タイマーは5時1分にしておきます。

佐藤選手 ぼくは決めた時間がすぎるのが残念だから、4時59分にします(笑)。